

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
高齢者に対する支援と介護保険制度 I Support for the Aged and Support System for Care Insurance I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山田 昇	本館 2 F	授業時に説明します。		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「高齢者に対する支援と介護保険制度 I」では、高齢者の身体的・精神的変化を学習し、高齢者を一人の人間として理解する。</p> <p>また、我が国の高齢者福祉制度の発展を理解し、法規の成り立ち、特に介護保険制度の仕組みとサービスの提供方法について学ぶ。</p>				
授業の目標				
<p>①高齢者の社会的定義を説明できるようにする。</p> <p>②高齢期の身体的・精神的変化及び特徴を述べるができるようにする。</p> <p>③高齢者保健福祉の発展過程について述べるができるようにする。</p> <p>④高齢者支援の関係法規を列挙し、その特徴について述べるができるようにする。</p> <p>⑤介護保険制度の目的と手続きを説明し、サービスの種類を列挙できるようにする。</p> <p>⑥高齢者を支援する機関・専門職の役割を述べるができるようにする。</p>				
授業の方法				
視聴覚教材と配布資料を使った講義形式で行う。学生の理解を深めるため演習を取り入れることもある。				
学習の成果（学習成果）				
高齢者の特性を理解し、高齢者をとりまく社会情勢の変化、現在の福祉・介護需要（法制度含む）について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等） 高齢者の特性（社会的・身体的・精神的理解）			
第2回目	我が国の少子高齢社会の現状と動向・課題			
第3回目	高齢者福祉の発展			
第4回目	高齢者支援の関係法規①（高齢者保健福祉の法体系、老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律）			
第5回目	高齢者支援の関係法規②（高齢者虐待防止法）			
第6回目	高齢者支援の関係法規③（その他の関係法規）			

第7回目	介護保険制度の基本的枠組み①（介護保険制度創設の目的と理念）	
第8回目	介護保険制度の基本的枠組み②（保険者と被保険者）	
第9回目	介護保険制度のしくみ①（要介護認定のしくみとプロセス）	
第10回目	介護保険制度のしくみ②（保険給付）	
第11回目	介護保険制度のしくみ③（介護報酬、地域支援事業）	
第12回目	介護保険制度のしくみ④（介護保険事業計画、サービスの質を確保するためのしくみ）	
第13回目	介護保険サービスの体系（介護保険サービスにおける専門職の役割と実際）	
第14回目	「地域包括支援センターの活動～社会福祉士の立場から」【講義レポート：提出15回目】 外部講師：社会福祉士 佐藤清子氏（所属：佐野市地域包括支援センターさの社協）	
第15回目	前期のまとめと国家試験対策	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者や担任に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書		
小テスト	10%	第8回目の授業において小テストを行う。ほぼすべての授業にリアクションペーパーを行う。このことにより学びの振り返りができる。求められたテーマについて自分の考えを明確にすることが出来る。
試験	60%	論述、選択記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『権利擁護と成年後見制度（新・社会福祉士養成講座）』第4版 中央法規出版 『更生保護制度（新・社会福祉士養成講座）』第3版 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
社会福祉士国家試験受験資格取得の為に必修科目である。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		